

第52回熊本県教員蹴友会会長旗争奪 KFA 熊本県中学校 U-14 サッカー選手権大会

競技規則および申し合わせ事項についての共通理解

2023/12/02(土)

(一社)熊本県サッカー協会3種委員会 審判部

1. 日本サッカー協会制定の「2022/2023 サッカー競技規則」および本大会要項を適用する。

【選手の用具】

2. 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。ただし、合同チームにおいて、用意が難しいチームにおいては、以下のように対応すること。

- (1) 本競技会に登録した1色以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。（2色以上の持参が好ましい。）
- (2) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる（ピブス等も可）。
- (3) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
- (4) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがピブス等を着用することを決定する。
- (5) アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (6) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

3. 正・副の2色については明確に異なる色とする。

4. 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

5. ユニフォームは、1～99までの番号を準備すること。選手の背番号は、大会を通じて選手固有のものとする。ショーツに番号が付いている場合は、シャツと同じ番号とする。

6. チームの事情によりフィールドプレーヤーがゴールキーパーを務める場合は、フィールドプレーヤーのときと同じ番号のゴールキーパーユニフォームで出場すること。PKのときも同様である。

7. 負傷によりフィールドプレーヤーがゴールキーパーを務める場合は、自チームのキーパーシャツを借りてプレーすることを認める。

8. ユニフォームの番号を貼り付ける場合、布地や番号の色は元の色と同じ色にすること。

【審判員】

9. 準々決勝までは、帯同審判員で行う。

10. 各チーム2名の帯同審判員（有資格者）は、試合当日に会場にて審判証を提示すること。（スマートフォンの画面でも可）

11. 1～3回戦までは、中学生の4級審判員が副審・第四審を務めてもよい。（ただし、できる限り、高校生以上のユース審判もしくは大人の審判員を帯同すること（努力義務））。

12. 中学生においても、審判服を着用することが望ましい。中学生に限り、審判着が用意できない場合はユニフォームと区別がつく服装での審判を認める。例）黒色ピブスの着用

13. 4回戦以降において、各チーム2名の帯同審判員うち1名は、3級以上の審判員とする。

【試合時間】

14. 試合開始5分前に本部前に集まること。

15. 延長戦前は3分間、PK戦前は1分間のインターバルをとる。延長戦のハーフタイムのインターバルでは、1分間の水分補給時間を取ってもよい。

【その他】

16. 競技中に交代要員がウォーミングアップを行う場合は、ベンチの後方または脇とし、競技中の選手と異色の服装（ピブス等）で、ボールを使用せずに行う。また、ウォーミングアップをしていないときは、ベンチに座らせる。

17. 審判員や他チームの批判・中傷を報道関係者にしたり、SNS やインターネット上に書き込んだりしないように、自チームの選手・応援者に周知をお願いします。